

伊賀市の文化財 19

県指定有形文化財（建造物）

入交家住宅

上野相生町に武家屋敷があるのを知っていますか。

上野には、江戸時代の城下町の町割りがあるまま残っています。当時は、台地の北端の高台に城代屋敷などの施設があり、外堀の中の二之丸とよばれる区域に武士が住んでいました。また、外堀の南に商人の住む町があり、それらの外側に武士や農民たちが住んで町並みが形成されていました。上野相生町のある筋には商人と武士が住んでいました。

武士の住む屋敷を武家屋敷といえます。武家屋敷の大半は藩が所有し、藩士（武士）に貸し与えていました。藩士は、仕事の内容や俸禄（今でいう給料）によって見合った住宅に屋敷替えが行われました。

入交氏はもともと土佐の長宗我部氏に属して、関ヶ原の戦で長宗我部盛親が西軍に属したため没落しましたが、伊予の板島（現在の宇和島）にいた藤堂高虎に召し抱えられ、伊賀上野へやってきました。入交勘平家は宝永年間（1704～1708）に上野忍町に居宅を賜り、寛政年間（1789～1800）頃に現在の住所に移りました。安政4（1857）年の俸禄は170石で、中級武士でした。

禄高によって門の形が決められていて、入交家住宅の門は長屋門です。主屋は茅葺の屋根で、正面には式台玄関という上役が訪問した時にだけ使われた出入口があります。

▼入交家住宅



【問い合わせ】

教育委員会文化財室 ☎22-9681

市は平成13年度に入交家住宅を公有化し、後世に残していくことにしました。14年度から17年度にかけて建物調査、古文書調査・発掘調査などを実施したうえで、当時の再現のための保存修理工事を行いました。

8月1日から生涯学習の場や観光施設として有料公開しますが、その前に次のとおり無料公開します。

【と き】 7月30日(日)・31日(月)

午前10時～午後4時

【記念行事】

● 7月30日 午前10時30分～

（琴の演奏） 箏曲若富紫会

● 同日 午後1時30分～

（講演会） 「入交家住宅と上野のまちなみ」

講師 三重大学助教授

菅原洋一さん

※講演会の定員は15人で、当日午後1時から受付で希望者に整理券をお渡しします。



ひとが輝く 地域が輝く

～住み良さが実感できる自立と共生のまち～

伊賀市 IGA CITY

ホテルを撮影して・・・

広聴広報課へ配属されて2カ月あまり。ついに表紙の撮影を任せられました。今まで、カメラといえばコンパクトデジタルカメラが使い捨てカメラしか経験のなかった私ですが、一眼レフのデジタルカメラを使用し、先輩の教えをうけてホテルの撮影に挑みました。

表紙の写真は、6月12日に鳥ヶ原の小山川で撮ったゲンジボタルです。

ゲンジボタルの名前の由来は、腹部が発光することを、紫式部の源氏物語の主人公「光源氏」にかけて名づけられたそうです。また、ヘイケボタルは源氏に對比するものとして、名づけられたそうです。

今回は夜間の撮影なので長時間シャッターを開けたままにするのですが、車の光に注意するなど、なかなか難しかったです。

みなさんいろいろな写真を見ていただくため、もっと勉強したいと思います。

広聴広報課 西岡裕崇



市の木
▼アカマツ

市の鳥
▼キジ

▲市の花
ササユリ



発行日 平成18年7月1日

発行 伊賀市

〒518-8501

三重県伊賀市上野丸之内116番地

編集 企画振興部広聴広報課

☎0595-22-9636

伊賀市ホームページ：

<http://www.city.iga.lg.jp/>



この広報紙は古紙配合率100%の再生紙を使用しています。